

- ▶ 森林経営管理事業を進めていく中で、境界確認の必要性が生じてきたため、事前に境界確認業務により、森林所有者を調べる業務と境界を確認する業務を実施した。そのことで、その後の森林所有者への意向調査時において、地図上で所有森林の場所を示すことができ、また、集積計画策定のための測量及び森林調査についても、本資料を活用することで効率的な事業の推進につながっている。

□ 事業内容

森林経営管理事業 境界確認業務委託 三木里地区

【事業費】4,180千円（うち譲与税4,180千円）

【実績】対象面積 63ha



（境界木の確認①）



（境界木の確認②）



（地図による確認③）

□ 工夫・留意した点

- ・境界を探す作業において、境界木（写真参照）から辿っていくことで、境界確認に努めた。
- ・受託者である、森林組合が地元の森林所有者や、現場作業に精通している山林作業員からの情報収集に努めたことで、本事業を推進することができた。

□ 取組の効果

- ・森林所有者に対して、地図上でおおよそではあるものの、所有森林の場所を示すことで、双方で境界等の確認作業ができた。そのことで意向調査や測量及び森林調査へスムーズに進むことができた。

◇ 基礎データ

①令和6年度譲与額	千円
②私有林人工林面積（※1）	9694.04ha
③林野率（※1）	92%
④人口（※2）	15,667人
⑤林業就業者数（※1）	38人